

【担当教員名】 各学科担当教員	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

<一般目標：G I O>

本科目は大学生生活への円滑な導入を主たる目的として設定されている。この目的を実現するために、少人数のゼミ・グループで学習に関する基礎的な知識・技術を習得するとともに、対人交流の基礎能力や健康・安全に関する意識を身につける。

<行動目標：S B O>

1. 大学生としての学習に必要な以下の能力を、課題への取り組みなどを通して実践することができる
    - 1) 話を聴いて正しく理解する
    - 2) 文章を正確に読みとる
    - 3) 話や文章の要点をまとめる
    - 4) 疑問に思ったことを調べる
    - 5) 必要な情報を収集する
    - 6) 自分の意見を筋道を立ててまとめる
    - 7) 収集した情報を利用する
    - 8) 考えた内容を相手にわかるように伝える（書く・話す）
  2. ゼミ活動を通して教員や学生と良好な人間関係を築き、対人交流の技術を発展させる
  3. 健康で安全な生活を過ごすために、次のことが実践できる
    - 1) 健康上の障害となる身体的・精神的要素について列挙する
    - 2) 安全を保つための留意点について列挙する
    - 3) 1)及び2)の実践方法について討議する
- ※下の欄の内容については、各学科で立案し、各ゼミの計画によって実施される

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション 基礎ゼミの目標・構成・内容の説明、メンバーの自己紹介等	1, 2	ゼミ毎 又は学科単位
2	履修相談と確認 シラバスに基づき、必修・選択の区別や将来の進路との関係話し合う	"	ゼミ毎
3	テーマについて 学生・教員の話し合いによって課題・スケジュールを決定する	1-3	ゼミ毎
4	"	1-3	ゼミ毎
5	"	1-3	ゼミ毎
6	"	1-3	ゼミ毎
7	"	1-3	ゼミ毎
8	"	1-3	ゼミ毎
9	<「夢を語る会」 「私の夢」の発表、学長講話 (6月16日の予定)>		全学科合同
10	テーマについて	1-3	ゼミ毎
11	"	1-3	ゼミ毎
12	"	1-3	ゼミ毎
13	"	1-3	ゼミ毎
3回目から13回目までの間に、各学科毎に適宜学生教員交流会を行うものとする			

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	各学科の指示による 参考：知へのステップ	学習技術研究会（編）	くろしお出版	2002年、¥2,400
参考書	必要に応じて紹介する			
その他の資料	必要に応じて配布する			

【評価方法】 ゼミ活動への積極的参加を評価する (出席、討議への参加、課題遂行への貢献など)	【履修上の留意点】 学生には、活動に積極的に参加して、考え、発言することにより、自分自身で授業を作り上げていくという態度が求められる。
--	--